

特定のデジタル音声ポートへの発信 VoIP コールのマッピング

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[特定の DS0 グループのための T1 を設定して下さい](#)

[H.323 ゲートウェイ着信ダイヤルピアを設定して下さい](#)

[H.323 ゲートウェイ トランスレーション プロファイルの設定](#)

[トランスレーション ルールの設定](#)

[発信 ダイヤルピアを設定して下さい](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[トラブルシューティングのためのコマンド](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

このドキュメントでは、コールを発信した IP フォンの発信者番号に基づいて特定の DS0 ポートを使用して公衆電話交換網 (PSTN) にコールをルーティングするようにアナログ H.323 ゲートウェイを設定する方法について説明します。通常、アナログ ゲートウェイに送信されるコールは、ハント方式を使用してゲートウェイからコールをルーティング必要がありますが、このとき発信コールをルーティングするためにどの DS0 ポートを選択するかについては考慮されません。多くの場合、特定の DS0 ポートを特定の IP フォンの番号に関連付けることで、ポートをランダムに、または「最小のアイドル状態」のようなハント方式に基づいて選択するのではなく、発信コールが特定の DS0 ポートだけを使用するようにすることが推奨されます。

[前提条件](#)

[要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CallManager 3.x
- Cisco IP フォン
- アナログゲートウェイ (2600、3600、1700、2400) IAD注: Cisco IOS® ソフトウェアリリース 12.2(11)T およびそれ以降を実行したにちがいありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

注: このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) を使用してください。

ネットワーク図

このドキュメントでは、次の図で示されるネットワーク構成を使用しています。

[特定の DS0 グループのための T1 を設定して下さい](#)

設定
<pre>controller T1 1/0 framing esf linecode b8zs ds0-group 1 timeslots 1 type e&m-wink-start ds0-group 2 timeslots 2 type e&m-wink-start ds0-group 3 timeslots 3 type e&m-wink-start</pre>

[H.323 ゲートウェイ着信ダイヤルピアを設定して下さい](#)

ゲートウェイの着信ダイヤルピアは Cisco CallManager IP Phone から仕様 DS0 ポートに送信コールを受け入れます。

設定
<pre>dial-peer voice 1 voip translation-profile incoming DS01 answer-address 8378 !--- A call from IP phone 8378 matches this dial-peer. !--- The answer-address matches the ANI of the calling party. dial-peer voice 1 voip translation-profile incoming DS02 answer-address 8379 dial-peer voice 1 voip</pre>

H.323 ゲートウェイ トランスレーション プロファイルの設定

これらのトランスレーション プロファイルは入ってくるコールレグを一致する 受信側VOIPダイヤルピアによって引き起こされます。彼らは仕様 DS0 ポートが送信コールをルーティングするのに使用することができるように、呼出番号の数字ストリームにディジットの前に付ける変換規則を要求します。

設定

```
voice translation-profile DS01
  translate called 1
!
voice translation-profile DS02
  translate called 2
!
voice translation-profile DS03
  translate called 3
```

トランスレーション ルールの設定

トランスレーション ルールはトランスレーション プロファイルを Cisco CallManager によって送信されるディジット ストリームに個別のディジット ストリームの前に付けるのに使用します。ルータは発信者番号に基づいてある特定の着信ダイヤルピアと一致します。この設定はデジタルゲートウェイを通過してネットワークにダイヤルするべきルートパターンが Cisco CallManager の 9 であると仮定します。

これはトランスレーション ルールがどのように検知するかです。これらは Cisco IOS ソフトウェア Release 12.2(11)T とそれ以降で使用されるトランスレーション ルールの新型です。

設定

```
voice translation-rule 1
  rule 1 /^9/ /19/
!
voice translation-rule 2
  rule 1 /^9/ /29/
!
voice translation-rule 3
  rule 1 /^9/ /39/
```

これらのルールはディジット ストリームの先頭にディジットの前に付けます。これはダイヤル・ピアが一致することができる特定のアウトバウンドPOTS を可能にします。

発信 ダイヤル ピアを設定して下さい

これはどのようにアウトバウンドPOTS ダイヤル・ピア外観です。最終結果は第 X が付いているルータに入ってくるコールがルータによって検出されることです。それはそれからディジット ストリームの先頭にユニークなディジットの前に付ける変換規則を実行するトランスレーション プロファイルを誘発します。この場合このルータはある特定の DS0 ポートからある特定の IP 電話からのある特定のコールを発信できます。各 IP Phone に今それが他のどの IP Phone によっても使用することができないそれと対応づけられるユニークな DS0 ポートを所有することですあり

ます。これは Cisco CallManager のある特定の IP Phone に本質的にデジタル DS0 ポートを「マップします」。

```
設定

dial-peer voice 19 pots
 destination-pattern 19T
 translate-outgoing called 1
 port 1/0:1

dial-peer voice 29 pots
 destination-pattern 29T
 translate-outgoing called 2
 port 1/0:2
!
dial-peer voice 39 pots
 destination-pattern 39T
 translate-outgoing called 3
 port 1/0:3
```

この場合アウトバウンドコールが作られる、ルータはオリジナル デジタル ストリームの先頭のデジタルプレフィックスがある新しい変換された呼出し番号に基づいてダイヤル・ピアを選択できます。この変換が行われなかった場合、送信を送信するために仕様 DS0 ポートを選択するルータのための方法が呼出しますありません。ルータのデフォルト動作は、定義されたハントグループの順序に基づいてコールをルーティングします。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報について説明します。

トラブルシューティングのためのコマンド

特定の **show** コマンドは、[Output Interpreter Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) によってサポートされています。このツールを使用すると、**show** コマンド出力の分析を表示できます。

注: **debug** コマンドを使用する前に、『[debug コマンドに関する重要な情報](#)』を参照してください。

- **show dialplan number 8378** —いくつかと一致するダイヤルプランが、この場合あることを示して下さい: 8378。
- トランスレーション プロファイルと一致する場合 **debug voip ccapi inout** —右の Foreign Exchange Station (FXS) ポートを選択したかどうか見るためにコールのプログレスを示して下さい。

より詳しいトラブルシューティング情報に関しては、[VoIP コールの基礎的なトラブルシューティングおよびデバッグ](#)を参照して下さい。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)